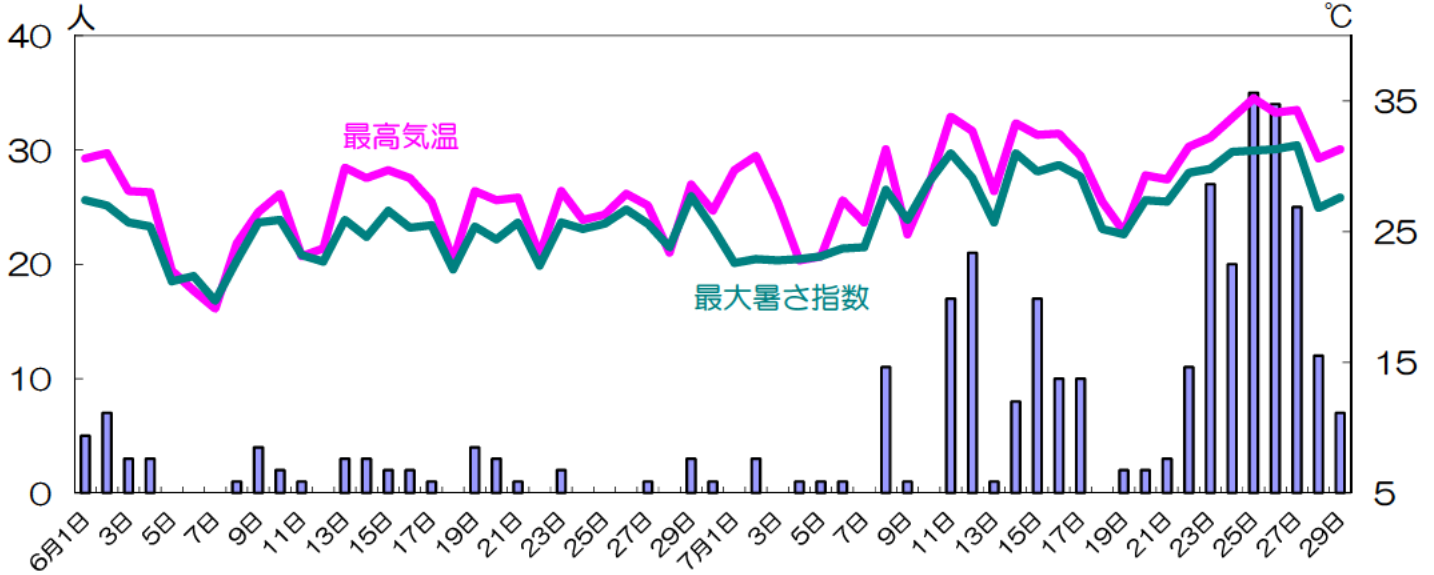


熱中症情報

平成26年8月1日

<搬送人数>

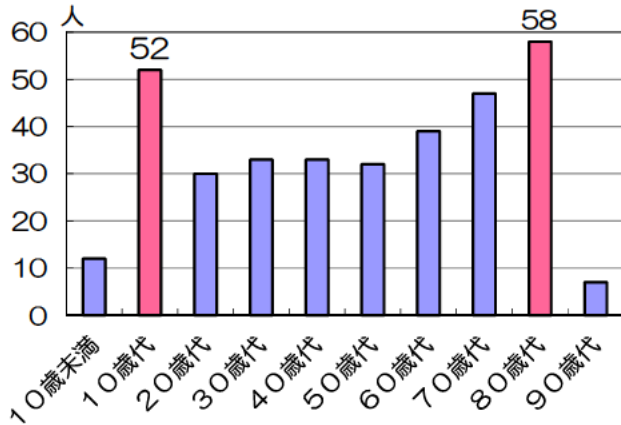
平成26年5月1日～7月29日までの救急搬送数は、計343人（5月11人、6月52人、7月280人）です。梅雨明け（7/22）した途端、最高気温が真夏日や猛暑日（7/25）を記録し、搬送者が増加しています。室温が28℃を超えないよう、エアコンや扇風機を上手に使い、こまめな水分・塩分補給をし、熱中症にならないよう、注意しましょう。



暑さ指数とは? 人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標
詳細は「[環境省熱中症予防情報\(暑さ指数\(WBGT\)について学ぼう\)](#)」をご覧ください。

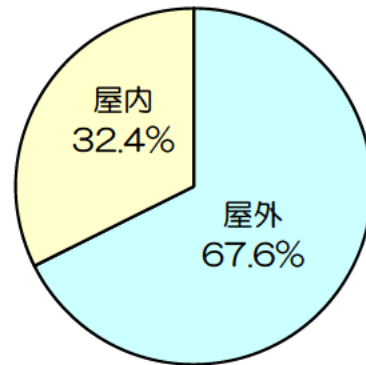
<年齢別>

年齢別では、80歳代が一番多く16.9%を占め、次に10歳代が15.2%でした。



<発生場所>

屋外67.6%、屋内32.4%でした。



<重症度>

軽症60.6%、中等症34.1%、重症4.4%、重篤0.9%でした。重症以上は18人（「屋外」7人、「屋内」11人（61%））でした。高齢者では9%が重症・重篤で、重症化の傾向がうかがわれます。

